

# 進路だより

令和5年5月26日  
岐阜県立恵那特別支援学校  
進路支援部 No. 1

中学部・高等部の教育課程(知的障がい)には、「作業学習」という授業があります。作業学習では、「働く人になる」ことを目標に、将来働いて自立した生活を送るための力を付けるため、いくつかの班に分かれて行っています。

今年度初めの進路だよりでは、普段の作業学習（作業班）と、それに加えて行っている実習等についてお伝えします。

## 【中学部の作業学習】

週に4時間（火・木曜日に2時間ずつ）、3つの作業班に分かれて学習しています。3年間の内に複数の班を体験する中で、決められた作業を丁寧に行うこと、自分の得意・不得意を知ることなどができるようにします。

紙工班	クラフト班	陶芸班
牛乳パックを材料にして紙すきをし、紙製品を製作しています。いくつかの工程を分業化し、一人一人が責任をもって作業を行っています。みんなで力を合わせて作った製品をたくさん的人に使ってもらいたいです。 	刺し子とステンシルの製品を中心に製作しています。どのように取り組めばきれいな製品ができるのか、一人一人が考えながら作業を行っています。愛用してもらえる製品づくりを目指しています。 	お皿やコップ、ヘアゴムを作っています。粘土用のこてを使って丁寧に、表面にしわが入らないように締めています。使う人が笑顔になってくれるような素敵なお皿ができるように頑張っています。 

## 【高等部の作業学習】

週10時間、6つの作業班に分かれて学習します。「休まず毎日参加する力」「ルールやマナーを守る力」「任されたことを最後までやりぬく力」「自分から報告、連絡、相談できる力」を身に付けられるように、取り組んでいます。

窯業班	木工班	縫製班
 たたら成型のお皿やろくろ成型のお茶碗等、さまざまな製品を粘土で作っています。粘土を締める作業や切る作業等、複数の工程を丁寧に行います。成型、素焼き、施釉、本焼きと、でき上がるまでに時間を要するのが特徴です。	 カッティングボードや木べら、組木等の木工製品の製作・販売を通じて「働く力」を身につけていきます。一つ一つの作業を丁寧に行い、良い製品になるよう心がけています。	 ミシンを使って、ポーチや巾着袋、トートバッグ等の布製品を作っています。製品に合う布やボタン等を選び、一つ一つ丁寧に心をこめて作っています。
工芸班	クリーンサービス班	軽作業班
 経糸と横糸の色の組み合わせを生徒達が考えて、はた織りをしています。できた布をミシンで縫って、バッグやポーチ等の製品にしています。一つ一つ丁寧に製品を作っています。	 清掃や喫茶といったサービスを通して、その技能とともに、社会人になるための振る舞いやコミュニケーションの取り方を身に付けています。また、作業効率を考えながら主体的に作業できるように学んでいます。	 ビーズを使った製品などを作っています。細かいビーズをミスなく入れられるよう、手元をよく見て作業に取り組んでいます。

## 【実習等について】

作業学習は、学校という慣れた場所で、同じ学部の仲間と、年間を通して取り組みます。働くことについて基本的なことを押さえるためには有効ですが、高等部卒業後の就労先での仕事の内容、時間と比較すると、より実際の職場に近い場面での学習も必要となります。

そのため、中学部・高等部では、以下のように、普段と違う形で働く学習を行い、働く意欲を高めながら、自分に必要な力を知り、身に付けていけるようにします。

### 中学部

#### ◇作業学習集中期間

- ・普段所属している作業班で行います。
- ・通常の作業学習は火・木曜日の2時間ずつですが、作業学習集中期間中は、1日中作業学習だけの時間割とし、3～5日間続けて行います。

実施期間	前期（3日間）、後期（1週間）
------	-----------------

※実施期間中に校内作業実習(高等部)の見学を行うこともあります。

### 高等部

#### ◇校内作業実習（高等部）

- ・地域の会社からいただいた仕事(普段と違う作業)に、学校内で取り組みます。作業後には会社への納品があるため、より正確な作業が求められます。
- ・普段の作業班とは別のグループで、1日働く経験をします。

実施期間	高等部1年生	前期（2週間）、後期（2週間）
	高等部2年生	前期（1週間）※次の週に現場実習を実施



#### ◇現場実習・インターンシップ(5組のみ)(高等部)

- ・卒業後に就職や利用を考えている企業や事業所に実際に通い、1～2週間、実習を行います。
- ・実習先への通勤方法や、帰宅後や休日の過ごし方等、仕事(作業)だけでなく、社会人としての生活リズムをつくっていく上で重要なことについても考えます。
- ・卒業後の職業生活に近い状態で2週間の実習を行う中で、実習先の方に、働く力について評価してもらったり、生活面で必要なことについて教えてもらったりします。
- ・3年生前期の現場実習後には、自分がどの職場でどのように働きたいのか、進路についての意志を固め、進路先を決めます。後期の現場実習には、就職試験のつもりで取り組みます。

実施期間	高等部2年生	前期（1週間）、後期（2週間）
	高等部3年生	前期（2週間）、後期（2週間）

※5組のインターンシップの期間については別途お知らせします。

実習の際には特に、生活のリズムを整えたうえで取り組めるよう、ご協力ください。その他必要なことは、実習前に確認します。よろしくお願いします。

昨年度の高等部卒業生の進路先一覧や、過去4年間の現場実習先一覧を、当校ホームページの進路情報欄に掲載しています。ご覧ください。

【恵那特別支援学校 HP】URL : <https://school.gifu-net.ed.jp/ena-sns/>